

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」



「おめでとう」の意味

新年あけましておめでとうございます。

今、「おめでとうございます」と言いましたが、「おめでとう」のもともとの意味を知っていますか。一つには、「目（芽）が出ることが喜ばしい」という意味で、これまで取り組んできたことが達成する、あるいは育ててきたものが成長するなど、喜ばしいときに言う言葉になります。もう一つは、相手のことが愛おしい、大切にしているという意味の「愛でる」に「いたす」が付いた「めでたし」から来た言葉になります。

では、新年が明けると、なぜおめでたいのでしょうか。これにもいくつか意味があります。一つは、昔の日本は「数え年」といって、生まれた日を1歳と数え、翌年の元旦には国民全員が1つ歳をとることになっていたのだので、元旦がみんなの誕生日だったからです。だから新年を迎えると「あなたも私も、みなさんお誕生日おめでとう」だったのです。もう一つには、昔は人生50年と言っていた時代もあるとおり、病気や災害、戦争などで、いつ死んでしまうか分からない中で、無事に新しい年を迎えられたことを祝う意味があります。

ここで忘れてはいけないことがあります。去年の元旦には何があったか覚えていますね。能登半島地震です。地震はいつくるか分からないと知っていても、まさか正月の1日に来るとは誰もが想像もしていなかったと思います。この地震で亡くなった方は500人近くいて、今でも避難生活をしている人もいます。

そう考えると、今こうして新しい年を迎え、七小のみんなでまた集まれたことは、本当におめでたいことではないですか。改めてその意味を踏まえ、今日一日を大切にする思いで、皆であいさつをしましょう。新年あけまして「おめでとうございます。」

今日から3学期がスタートしましたが、3学期は50日しかありません。今日だけでなく、明日からの一日一日も大切に過ごし、3月の卒業式・修了式には「成長したな」「頑張ってきて芽が出たな」と言えるようにし、4月には、進級・進学を皆で「おめでとう」と言い合えるようにしていきましょう。